

Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ

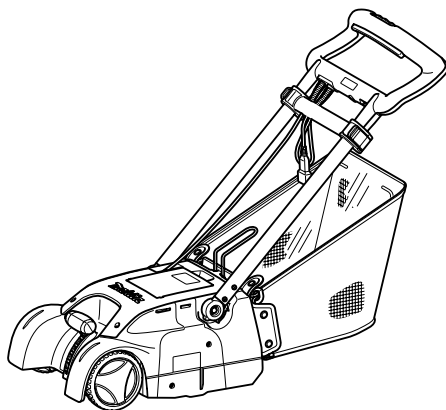
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

芝刈機

☐ モデル MLM2350

☐ モデル MLM2850



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**芝刈機**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次



・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	5
・ 芝刈機安全上のご注意	8
・ 各部の名称および標準付属品	10
・ 別販売品のご紹介	12
・ 使い方	13
・ ハンドルを起こす	13
・ ハンドルを伸ばす	13
・ 集草カゴを取り付ける	14
・ 刈り込み高さを設定する	15
・ 刃のすき間調整	16
・ スイッチの操作	17
・ ロックコネクタ付ツナギコード（延長コード）の接続	18
・ ツナギコードの接続	19
・ 腰用コードフックについて	20
・ 刈り込み方法	21
・ 長い芝の刈り方	23
・ 運搬について	23
・ 保管方法	24
・ 保守・点検について	25
・ 回転刃の交換	25
・ 回転刃の取り付け方	27
・ 固定刃の交換	28
・ 刃物のラッピング研磨	29
・ 本機のお手入れ	32
・ ご修理の際は	32
・ マキタ芝刈機保証書	36

主要機能

主要機能 / モデル	MLM2350	MLM2850
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相交流 100 V	
電流	5.8 A	
周波数	50-60Hz	
消費電力	550W	
回転数	1,800min ⁻¹ (回転 / 分)	
刈り込み高さ	約 5mm、10mm、15mm、20mm、25mm、30mm	
刈り込み幅	230mm	280mm
本機寸法	作業時：長さ 747mm × 幅 304 (354 : MLM2850) mm × 高さ 675 ~ 922mm (集草カゴ含む) 収納時：長さ 206mm × 幅 340 (354 : MLM2850) mm × 高さ 765mm (集草カゴ含まず)	
質量 (集草カゴは除く)	8.3kg	9.3kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **警告** ・ **注意** ・ **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-18

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近付けないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近付けないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警告

9. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音用保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。

13. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理する場合。
- ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

- ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 注意

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

芝刈機安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、芝刈機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB018-7

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 芝刈機を雨中や湿気の多いところで使用したり、放置しないでください。
 - ・ ショート・感電のおそれがあります。
3. 必ず長ズボン、運動靴等を着用してください。
 - ・ 刃物に小石などがあたって飛散し、けがのおそれがあります。
4. 小さい子供やペットのいるそばで使わないでください。また小さい子供には絶対に使わせないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
5. 芝刈機を使用する前に、作業場所内にある小石、棒切れ等の障害物を除去してください。
 - ・ 小石等が刃物に当たるとけがのおそれがあります。
6. 刃物が回転している間は、刃物や切り屑の排出口には手足や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがのおそれがあります。
7. スイッチを切っても刃物はすぐ止まりません。本機の持ちはこび、刃物の点検やお手入れは、必ず刃物が止まっていることを確認し、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。
 - ・ けがのおそれがあります。
8. 集草カゴをはずしたままでは使用しないでください。
 - ・ けがのおそれがあります。
9. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
11. 刃物にひび・欠けなどの異常があったときには、新しい刃物と交換してください。
 - ・ 切れ味が悪くなるばかりでなく、けがの原因になります。
12. 使用中は、本機を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本機が振れ、けがの原因になります。
13. 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
 - ・ 感電のおそれがあります。
14. ロックオフレバーをスライドさせた状態で固定しないでください。
 - ・ 不意に動き思わぬけがの原因になります。
15. 芝刈作業以外（除草など）には使用しないでください。
 - ・ 本機に負荷が加わり、事故やけが、故障のおそれがあります。

⚠ 注意

1. 刃物は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 感電のおそれがあります。
3. 使用しない場合は、必ず屋内に保管し、保管場所として次のような場所を避けてください。
 - ・ 子供の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - ・ 温度や湿度の急変する所
 - ・ 湿気の多い所
 - ・ 直射日光の当る所
 - ・ 揮発性物質の置いてある所
 - ・ 事故のおそれがあります。
4. 油及び殺虫剤などの薬品が本機に付いたままにしないでください。
 - ・ 変色・変形・割れ等、本機が損傷するおそれがあります。
5. 取り付けネジの点検
本機を正しく、安全にお使いいただくためにも、使用前に点検して、ゆるんでいたら締め直してください。

注

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

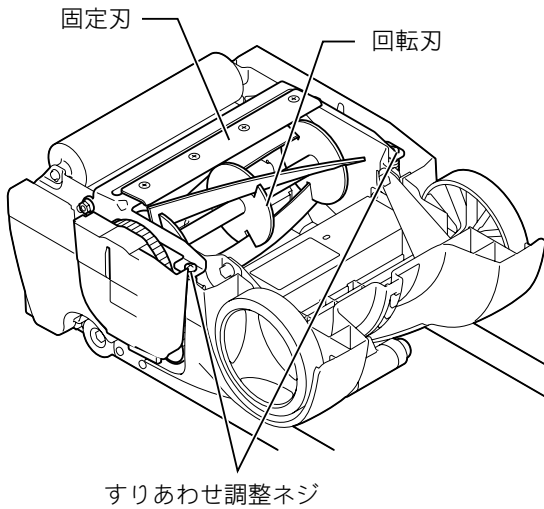
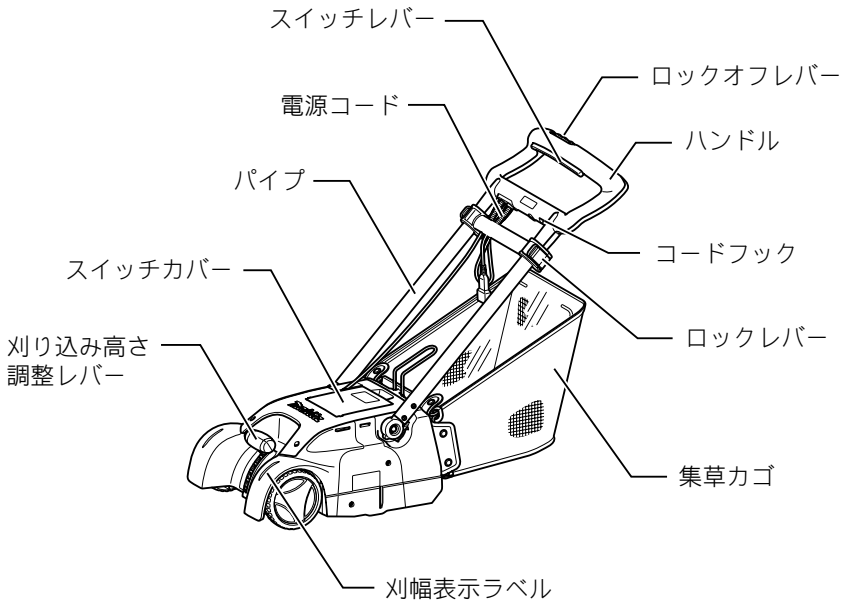
使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5A	5 ～ 7A	—
0.75mm ²	20m	10m	—

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
1.25mm ²	30m	15m	10m
2.0mm ²	50m	30m	20m

- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



各部の名称および標準付属品

標準付属品

- ・ ロックコネクタ付ツナギコード (10m)
- ・ ラッピングコンパウンド (30g) セット品
- ・ ラッピング用ブラシ
- ・ 腰用コードフック

注

- ・ ツナギコードは本製品以外に使用しないでください。

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

モデル MLM2350 用

- ・ 回転刃 (3 枚刃)
部品番号 A-52255
- ・ 固定刃
部品番号 A-31027

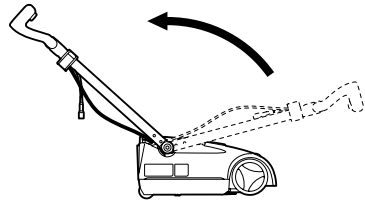
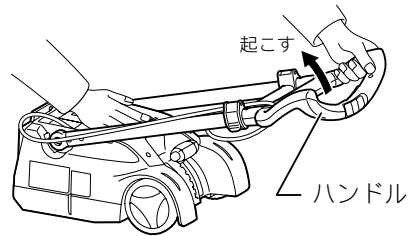
モデル MLM2850 用

- ・ 回転刃 (5 枚刃)
部品番号 A-52249
- ・ 固定刃
部品番号 A-32390
- ・ ロックコネクタ付ツナギコード (10m)
部品番号 : A-51150
- ・ ツナギコード
部品番号 : 661903-9

使い方

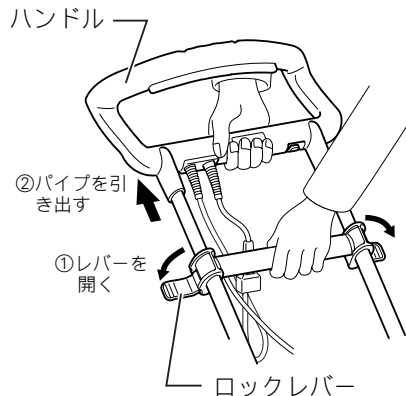
ハンドルを起こす

- ・ 本機を手で押さえ、ハンドルを起こします。途中で止まる所がありますが、最後まで起こします。



ハンドルを伸ばす

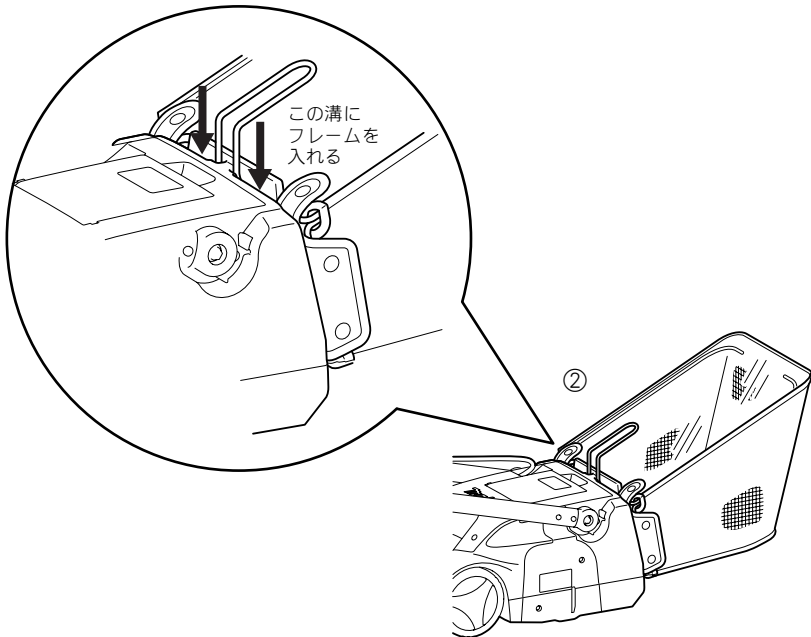
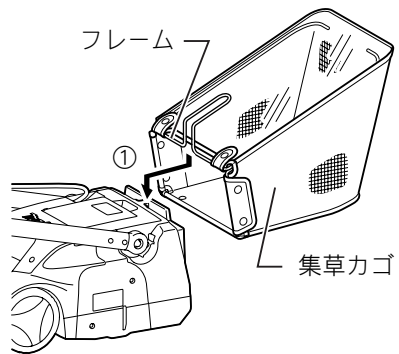
- ・ 左右のロックレバーを開き、ハンドルを持ってパイプを伸縮させます。使いやすい位置で左右のロックレバーを閉じて確実に固定します。



使い方

集草カゴを取り付ける

- ・ 集草カゴの集草口部のフレームを本機の後部に引っ掛けます。



注

- ・ 正しい位置に集草カゴを取り付けてください。正しく取り付けないと集草能力が落ちる原因になります。

使い方

刈り込み高さを設定する

⚠ 警告

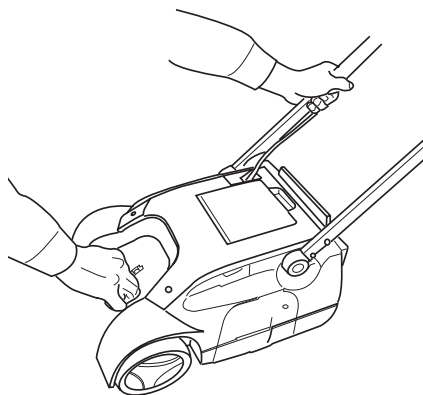
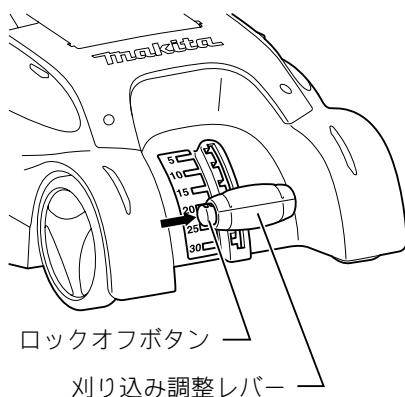
刈り込み高さを調整するときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いた後、刃物が停止したことを確認してから行ってください。

- ・ 刃物が確実に停止していないと、けがの原因になります。

刈り込み高さを調整するときは、車輪と本体カバーの間や狭い部分（隙間）などに手を入れないでください。

- ・ 手を挟んで、けがをする恐れがあります。また、本機下に手を入れないでください。刃物でけがをする恐れがあります。

- ・ 芝生の高さは約5～30mmまで6段階に調整できます。お望みの高さに調整してください。
- ・ ロックオフボタンを図の矢印方向に押し込みながら刈り込み調整レバーを前後に動かして、刈り込み高さを調整します。このとき、もう一方の手でパイプを握ると刈り込み高さがスムーズに調整できます。調整後、ロックオフボタンが刈り込み高さの溝に確実にハマり込んでいることを確認してください。



注

- ・ 刈り込み高さの数値は目安として使用してください。芝や地面の状態で多少長さが変わることがあります。

使い方

刃のすき間調整

⚠ 警告

刃のすき間調整の際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

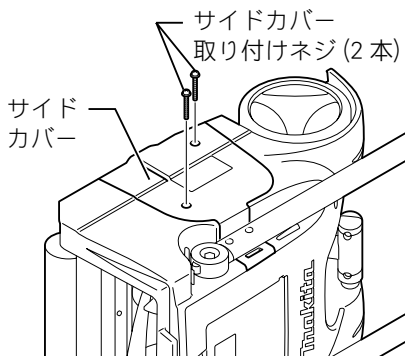
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行なうと、事故の原因になります。

⚠ 注意

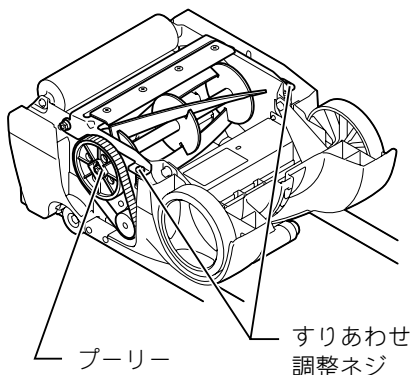
必ず手袋を着用して行ってください。

- ・ けがの原因になります。

- ・ 切れ味を良好に保つため、定期的に回転刃と固定刃の間のすき間を調整してください。
- ・ サイドカバー取り付けネジ (2 本) をはずします。



- ・ 本機を裏返し、左右のすりあわせ調整ネジをドライバーで回し、刃のすき間を調整します。プーリーを手で回して回転刃を回し、新聞紙が切れるようになるまで左右均一に、軽く接触するくらいに調整してください。
- ・ 調整が終わりましたら、サイドカバーを取り付けネジで取り付けてください。



注

- ・ 刃のすりあわせが強すぎると刃の寿命が短くなるばかりでなく、ベルトおよびモータ損傷の原因となります。

使い方

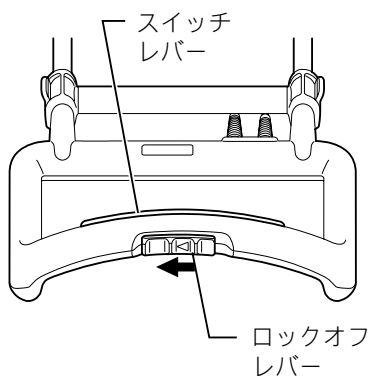
スイッチの操作

⚠ 警告

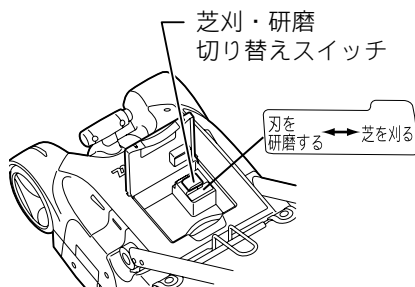
電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

- ・ スイッチはロックオフレバーを図の矢印方向にスライドさせた状態でスイッチレバーを引くと入り、離すと切れます。スイッチレバーを離すと、自動的にロックオフレバーが戻り、スイッチが入らない状態になります。



- ・ 本機のスイッチカバーを開けると芝刈・研磨の切り替えスイッチがあります。芝刈を行なう時は「芝を刈る」側にラッピング研磨を行なう時は「刃を研磨する」側にスイッチを切り替えてください。



使い方

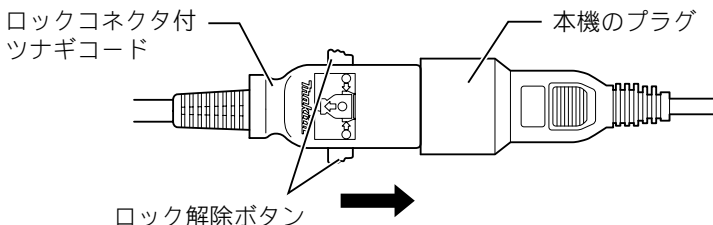
ロックコネクタ付ツナギコード（延長コード）の接続

⚠ 警告

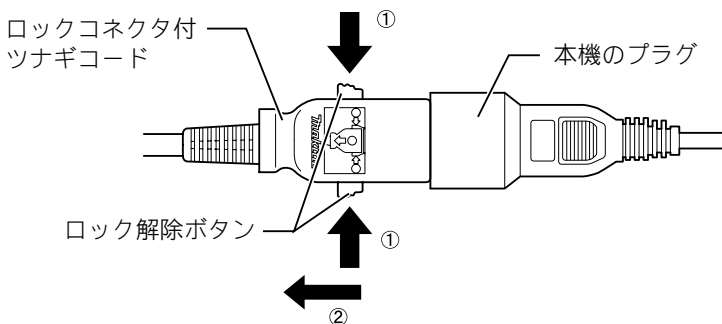
ロックコネクタ付ツナギコードをキャプタイヤコードに接続するときはスイッチが切れていることとロックコネクタ付ツナギコードが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

- ・ ロックコネクタ付ツナギコードを本機のプラグに接続するときは、ツナギコードを本機のプラグの奥まで差し込んでください。



- ・ 取りはずすには、ロック解除ボタンを押した状態で本機のプラグからツナギコードを引き抜きます。



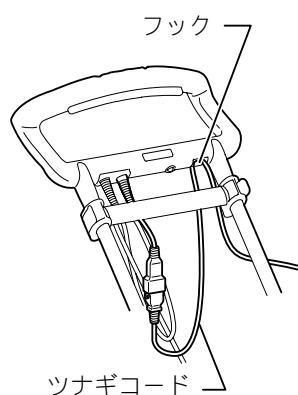
注

- ・ ロックコネクタ付ツナギコードと本機のプラグを接続したまま、コードを無理に引っ張ったり、本機をぶら下げないでください。
- ・ ロック解除ボタンを押さずに、無理にプラグを引き抜かないでください。故障の原因になります。
- ・ ロックコネクタ付ツナギコードは、他の電気製品に使用しないでください。

使い方

ツナギコードの接続

- ・ ツナギコードを接続するときは、図のようにフックに引っ掛けて接続部に過度な力がかからないように抜け止めを行なってください。



注

- ・ 標準付属品ロックコネクタ付ツナギコードを使用する場合は、抜け止め効果を有しているため、フックに引っ掛ける必要はありません。

使い方

腰用コードフックについて

⚠ 注意

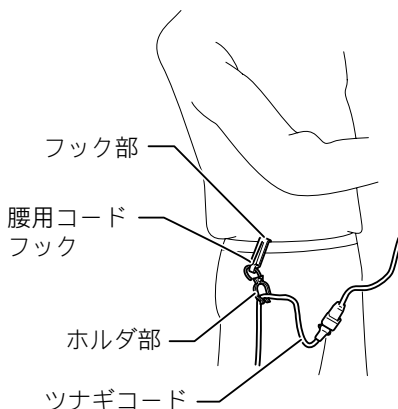
腰用コードフックのホルダ部はツナギコード以外には取り付けないでください。

- ・ 上記以外の使い方をすると事故やけがの原因となる恐れがあります。

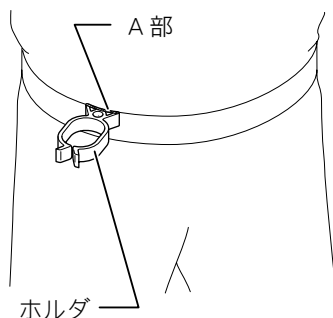
腰用コードフックを使う場合、ツナギコードは標準付属品のコードを使用してください。

- ・ 市販の延長コードを使いますと、事故やけがの原因となるおそれがあります。

- ・ 腰用コードフックを腰に付けて作業すると、ツナギコードのたるみによる不用意な切断防止に効果があります。
- ・ 腰用コードフックは、フック部を腰に取り付けて、ホルダ部をツナギコード側のフックより電源側に付けてください。

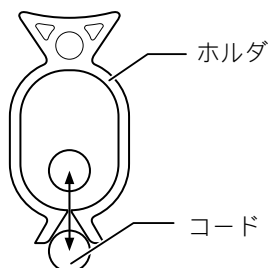


- ・ コードをホルダに取り付ける際は、ホルダを手に持ち湾曲部分（A部）を腰に押し付けておくと、ワンタッチでコードが付けやすくなります。
- ・ コードはホルダ開口部から着脱してください。



注

- ・ ホルダ開口部には無理な力を加えないでください。ホルダ部の変形・破損の原因となります。

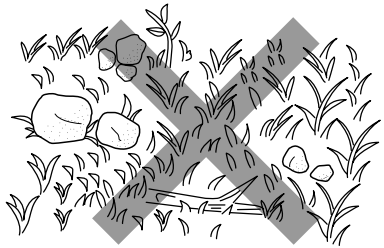


使い方

刈り込み方法

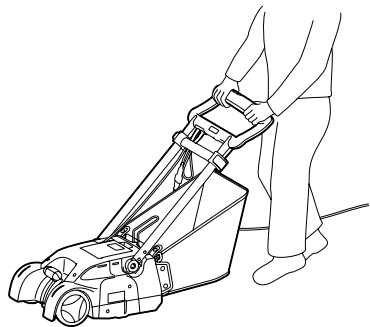
⚠ 警告

あらかじめ小石、棒切れなどを取り除いてください。また、雑草も事前に取り除いてください。

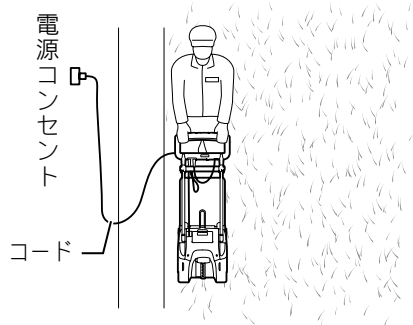


注

- ・ 小石等を刃物がかみこむと刃が欠けることがあります。
- ・ ハンドルを両手でしっかり持って作業してください。
- ・ 刈り込みの速さは 1m を 4 秒ぐらいで動かすのが目安です。
- ・ 刈り込みはコードがじゃまにならないように、電源に近い方から行ないます。

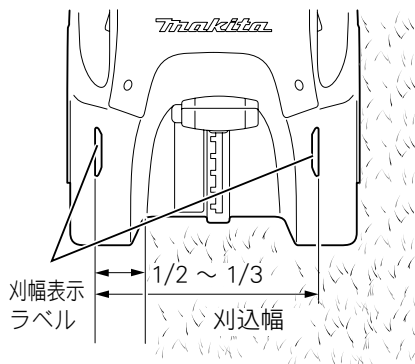


- ・ 本機がツナギ（延長）コードの上を通ったりして、コードを本機下部へ巻き込まないようにしてください。

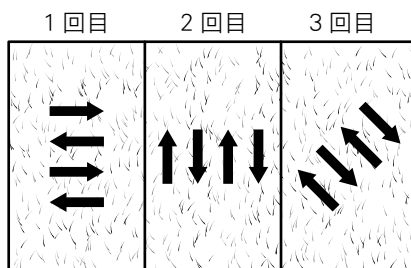


使い方

- 本機前面の刈幅表示ラベルの幅が、刈り込み幅の目安です。刈幅表示ラベルを目安に一度刈った幅の1/2～1/3を重ねて刈ると、ムラなく刈ることができます。



- 刈り込みの角度を変えて刈ると、芝目が一定方向になるのを防ぐことができます。右図のように毎回角度を変えて刈り込みを行なうときれいになります。



- 時々集草カゴ内の刈った芝のたまり具合を確認して、いっぱいになる前に捨ててください。

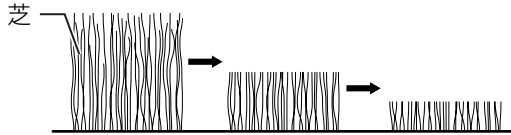
注

- 集草カゴ内がいっぱいのまま作業すると刃物がスムーズに回転しなくなりモータに負担がかかり、故障の原因になります。

使い方

長い芝の刈り方

- ・ 長い芝は一度に短く刈らず日をあけて徐々に刈り高さを低くして短く刈りそろえてください。



注

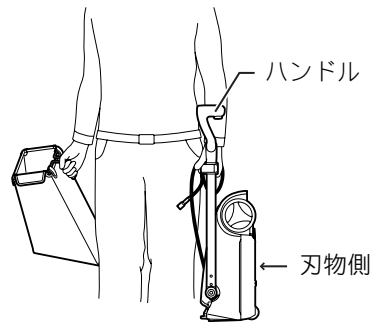
- ・ 長い芝をいきなり低い刈り高さで刈ると、芝が枯れたり本機内に芝がつかまる場合があります。

運搬について

⚠ 注意

持ち運び時は刃物側を外側にしてください。

- ・ けがの原因になります。
- ・ 持ち運びはハンドル部を固定し、図のように持って運んでください。



使い方

保管方法

⚠ 警告

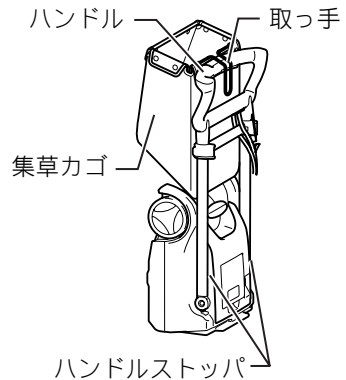
ハンドルと調整レバーの間で指を挟まないように気を付けてください。

- ・ けがの原因になります。

ハンドルが本機上面にあるハンドルストッパ（左右 2 箇所）に確実にハマり込んでいることを確認してください。

- ・ けがの原因になります。

1. 集草カゴを取りはずし、ハンドルを縮めます。
(13 ページの「ハンドルを伸ばす」を参照ください。)
2. ハンドルを折りたたんで、図のように立てます。
3. 集草カゴの取っ手を図のようにハンドルを引っ掛けてください。



⚠ 警告

点検・整備・刃物の交換の際には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行なうと、感電や事故の原因になります。

必ず刃物が止まっていることを確認してから行ってください。

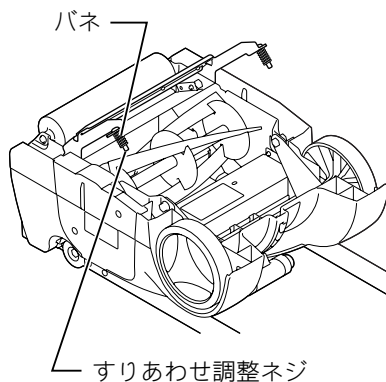
- ・ けがのおそれがあります。

点検・整備・刃物の交換の際には、手袋を着用してください。

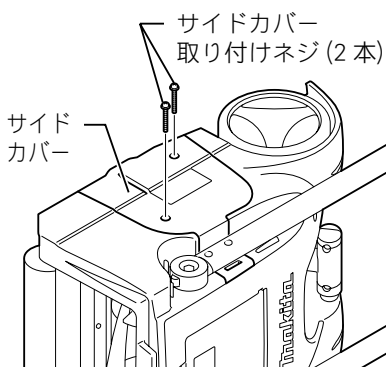
- ・ けがのおそれがあります。

回転刃の交換

1. 本機を裏返し、すりあわせ調整ネジ (2本) をゆるめて、上にあげます。

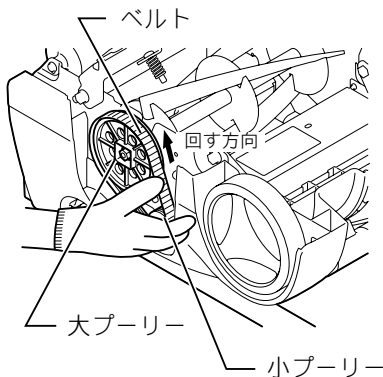


2. サイドカバーのネジ (2本) をはずします。

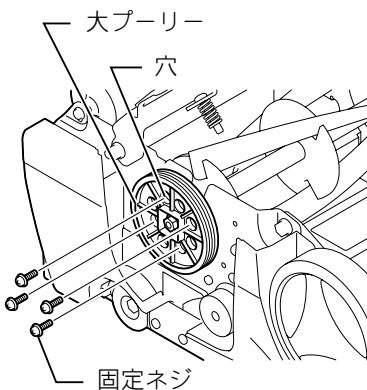


保守・点検について

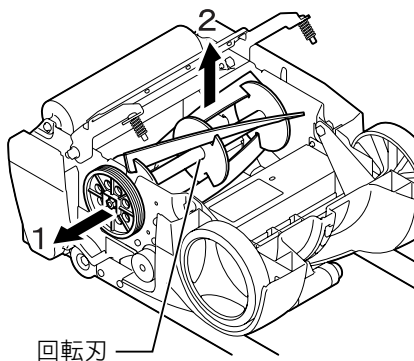
3. ベルトをはずします。
ベルトを矢印の方向に回して大プーリー側のベルトの山を1個ずつはずします。山が3個はずれたところで大プーリーからベルトをはずします。



4. 大プーリーの穴をネジに合わせ、ベアリングボックスの固定ネジ（4本）をはずします。

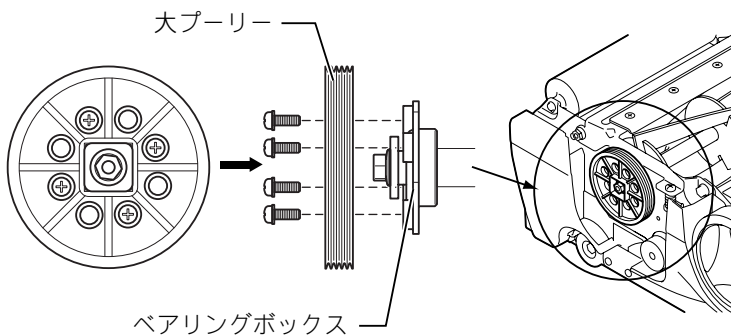


5. 回転刃を横に動かしてから上に持ち上げてはずします。

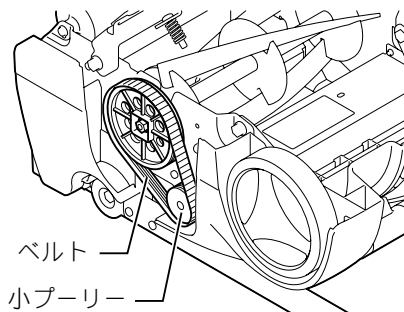


回転刃の取り付け方

1. 回転刃をはずしたときの逆の手順で回転刃を取り付けます。
回転刃をはめるときにはベアリングボックスの穴と本機の雌ネジ穴の位置を合わせます。(図のように大プーリーの穴から見て、ベアリングボックスの穴と雌ネジ穴が貫通している状態にします。)
ベアリングボックスの固定ネジ (4 本) を取り付けしてしっかり固定します。

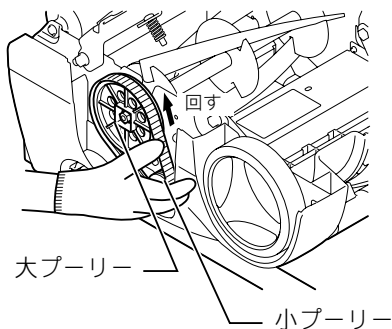


2. ベルトの取り付け方
(1) 小プーリー側にベルトをはめます。



保守・点検について

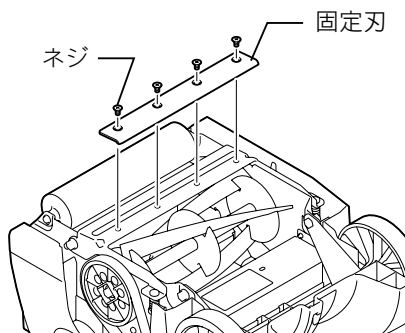
- (2) 大プーリー側に 2 ～ 3 山かけて親指で矢印の方向に回しながらはめていきます。



- (3) ベルトが大小プーリーの溝に正しく入っているか確認してください。

固定刃の交換

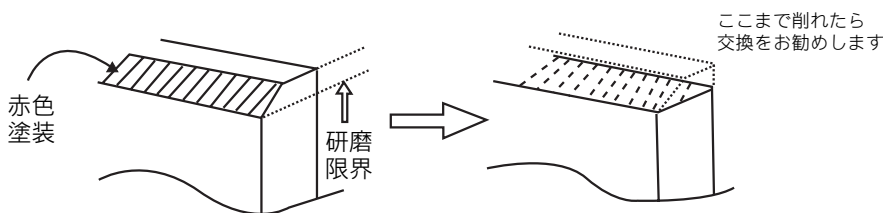
- ・ 固定刃を取り付けているネジをはずし、新しい刃と交換してください。
- ・ MLM2350 は 4 本のネジ、MLM2850 は 5 本のネジを使用します。



保守・点検について

刃物のラッピング研磨

- ・ 刃の切れ味が悪くなったら、次の要領でラッピング研磨を行なってください。なお、ラッピング研磨は、簡易的な研磨ですので、新品同様の研磨はできません。大きく磨耗した回転刃、固定刃は、セットで新品のものと交換してください。
- ・ 新品の回転刃の先端には、赤色塗装された部分があります。その部分がすべて削れたら新品に交換されることをお勧めします。(目安として、ラッピング研磨 2 ～ 3 回後)



- ・ ラッピング研磨した後は芝刈・研磨切り替えスイッチを「芝を刈る」に戻してください。

⚠ 警告

ラッピング研磨の際には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行なうと、感電や事故の原因になります。

ラッピング研磨作業中は、芝刈・研磨切り替えスイッチを「芝を刈る」にしないでください。

・ 「芝を刈る」にして行なうと、巻き込み、事故の原因になります。

ラッピング研磨作業は、手袋・保護メガネをかけて行ってください。

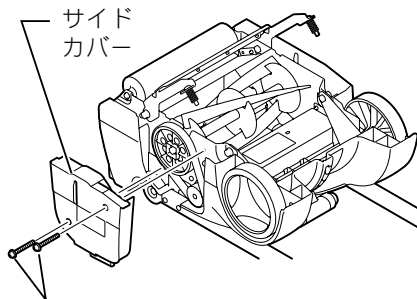
・ 素手・保護メガネ無しで行なうと、けがの原因になります。

回転刃を調整するとき、直接刃物に触れず、サイドカバーをはずしプーリーを回して行ってください。

・ 直接刃物に触ると、けがの原因になります。

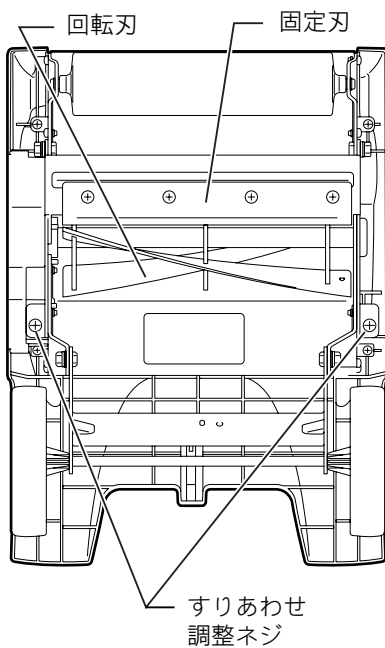
保守・点検について

1. 本機を裏返して、サイドカバーをはずしてください。



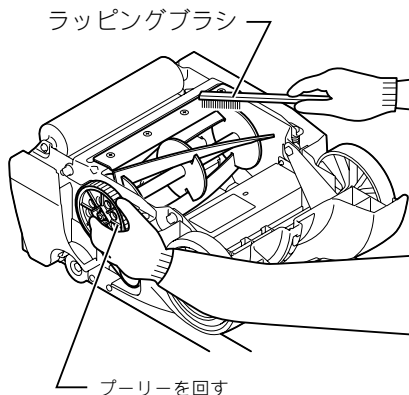
サイドカバー
取り付けネジ (2本)

2. ドライバーで、すりあわせ調整ネジ (2本) を回し、プーリーを回しながら回転刃と固定刃が強めに接触するよう調整してください。

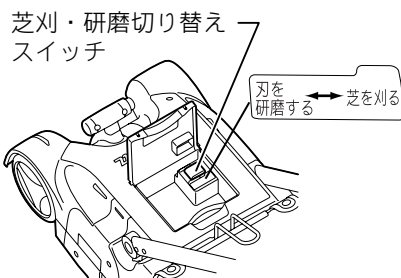


保守・点検について

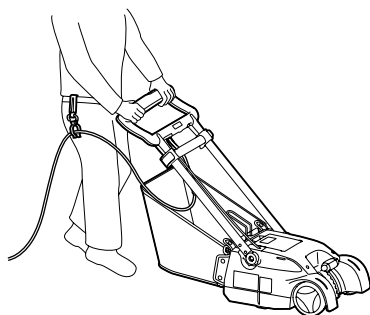
3. プーリーを回しながら、付属のラッピングブラシにラッピングコンパウンドを付け、固定刃と、すべての回転刃に塗ります。
4. サイドカバーを取り付けて、本機を通常の位置に戻してください。
ハンドルを伸ばし、集草カゴを取り付けます。



5. スイッチカバーを開けて、中にある芝刈・研磨切り替えスイッチの「刃を研磨する」側を押してください。



6. 電源プラグを電源コンセントに差し込み、スイッチの引き金を引いて、ラッピング研磨を2～3分間行ないます。金属音がしなくなったら研磨作業は完了です。

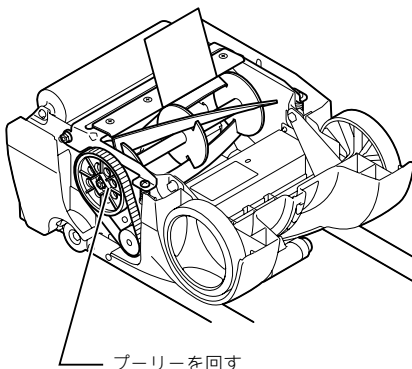


注

- ・ この時、運転しながら、芝刈・研磨切り替えスイッチを操作しないでください。
- ・ 故障の原因となります。

保守・点検について

- 電源プラグを電源コンセントから抜き、本機を裏返して、再度ラッピング研磨を行うため、1.に戻ります。
以上の操作を2～3回繰り返した後、すりあわせ調整を行い、新聞紙が切れるか確認します。(新聞紙は固定刃に対して垂直に入れてください。)切れなければ再度研磨してください。
- 研磨終了後は、回転刃と、固定刃に残ったラッピングコンパウンドを布などでしっかりと拭き取ってください。
コンパウンドの拭き取りが不十分ですと、刃が切れなくなる原因になります。
- 研磨刃切り替えスイッチを、「芝を刈る」に切り替えた後、芝刈を行ってください。(P17 参照)



本機のお手入れ

- 使用後は乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。また、柔らかいブラシなどで、刃物に付いた草や土を落としてください。

注

- ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- 使用後は吸気口等に付着した草や土を取り除いてください。集草効率や冷却能力低下の原因になります。
- 刃物を研磨する際、ラッピングコンパウンドが本機に付着しないようにしてください。変色、変形、ひび割れの原因となりますので注意して下さい。

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882553A9

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)